

日刊 動労千葉

86.2.15

No. 2168

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二二七、二〇七

業務移管を撤回せよ！ 検修合理化「613」ダイ改阻止

再び先頭に立つ！

津田沼拠点

午後六時、青年部のヘル部隊を先頭に隊列を整え、力強いシュプレヒコールでスト前夜集会が開催された。山下支部長は「オ一波ストに大打撃をうけた中曽根と当局は、オ二波圧殺をかけた120名の不当処分を強行した。だからわれわれはこれをはねかえし、今、オ二波ストへ突入する」と、結集した90名の組合員に力強く宣言した。区長渡田を先頭とした集会弾圧を粉碎し、本部吉岡執行委員、一瀬弁護士、川口乗務員分科会長、川崎青年部長の決意表明をうけ、天をつく団結ガンバローをもって全員ろう、城体制に入った。またかけつけた幕張支部の仲間、又、全国からかけつけた支援の仲間とのエールの交換をもって万全のスト突入体制を完了した。そして午前の時を期してオ二波ストに敢然と突入した。津田沼支部は、オ一波にひき続き、30万国鉄労働者の未来をかけ、再びオ二波ストを先頭で闘うものである。

勝利へ！ 千葉転拠点

千葉運転区支部は、14日、17時30分、勤務以外の全組合員の結集をもってオ二波スト突入総決起集会を開催した。乗務員詰所を埋め尽した組合員を前に永田支部長は「オ一波の闘いで降、みせしめ的大量不当処分の中で組合員一人ひとりがこの攻撃と真に対決しぬいてきた。敵は内部からの破壊を狙っている。オ二波ストにおかろう今こそ真の団結が求められており、われわれはこれに勝利した」と勝利の確信にみちた決意を明らかにした。本部木野副委員長、乗務員分科、青年部等より挨拶をうけ団結ガンバローで終了した。スト処分と業務移管そして大量の白晩・公安機動隊でわれわれの屈辱を策してきたが、ことごとくが失敗に終わっている。決意も固く、勝利めざしオ二波の先頭を担って闘いぬく。

未曾有の圧殺攻撃ぶち破り敢然とオ二波突入

— 見たか！ この動労千葉魂 —

未来を 成田拠点

成田支部2・15スト貫徹集会は、17時30分より運転区庁舎前において、勤務外全組合員と家族会、OB会元支部長村上さんの参加のもと、白晩・公安をよせつけず、意気軒昂と行われた。森内支部長より、「組合総体の力が民営分割を阻止できる。スト貫徹こそ業務移管を粉碎し未来を甦らさく道だ。私はその最先頭で闘う」との力強い決意がのべられた。葉山弁護士は「生きるための権利を奪う事に対しストで闘うことは当然の権利だ。共に闘う」と決意をのべた。一人の脱落者も出さない自信に満ちた「スト貫徹団結ガンバロー」を三唱して終了。青年部・青年隊を先頭に力強いかけ声でデモンストレーションに出、午前の時を期してストに突入した。

夜を徹し、駅・拠点で激励 支援共闘

常軌を逸したスト圧殺策動に抗して「オ二波」を闘い続ける動労千葉の闘いは全国の闘う仲間の熱い共感をかちとっている。14日の線見阻止闘争を成田・千葉・津田沼の各駅で支援した仲間には直ちに新小岩・西船橋・船橋・津田沼・千葉の駅頭で圧倒的街宣を展開。午後7時から④千葉地区はよし川公園に500名が結集、反対同盟北原さんらを先頭に千葉運転区激励デモ、エールの交換。⑤津田沼地区は宮本台北公園に600名が結集、小西さんら東京実行委・婦人民主クラブ等を先頭に夜遅くまで津田沼激励デモをくりひろげた。両地区ともスト当日(15日)も早朝から激励行動に決起する。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！